乳腺日帰り手術クリニカルパス　　様

項目	手術当日	
	術前	術後
観察	看護師が訪室し、体温、血圧、症状を観察します。	傷の出血、腫脹、排液の性状について観察します。
安静		ベッド上安静です。 床ずれができないよう寝返りをしてください。 2時間後から歩行できます。最初は看護師と一緒に歩きます。 手術4～5時間後、医師が診察し、退院になります。
食事	手術前日21時以降は食事、水分はとらないでください。 うがいはいつでもできます。	手術2時間後から水やお茶が飲めます。 退院後は普通に食事を摂取できます。
清潔		入浴 傷は保護剤（テープ）で覆っていますのでそのまま入浴できます。 保護剤は通常2～3週間で剥がします。一部が剥がれたりひび割れが起こっても傷の中に水が入る心配はありません。保護剤は無理に剥がさないでください。もし剥がれてしまった場合は、市販の絆創膏やガーゼにはりかえて頂いてもかまいません。
排泄		手術2時間後からトイレに行くことができます。
処置		手術後は、病棟に戻ります。心電図がつきます。（2時間後に外します）
検査	超音波（乳腺エコー）の検査をします。	
薬物療法		退院時に痛み止めの内服薬をお渡しします。
説明	入院中の注意点・手術に関する説明などを看護師が行います。	以下の症状を伴う場合は、感染が考えられますので、外科外来へ電話でお問い合わせください。 ☆発熱：38度以上（傷と反対側の脇の下で測定） ☆傷の痛み・赤み・食欲不振・倦怠感
目標	病状がわかり、納得して治療が受けられる。	出血がない。 内服薬の必要性を理解した上で服用ができる。

2009年12月作成　パス委員会承認　（2021年10月改訂）　聖隷浜松病院　C8病棟

・症状、状態によっては予定通りにいかない場合もあります。

＊何かご心配なことがありましたら、外科外来へ電話でお問い合わせください。

月～金　8:30～17:00　は外科外来。

それ以外の時間帯は聖隷浜松病院救急外来へ連絡をお願いします。

代表電話：０５３－４７４－２２２２